

2018年度第12回研究力伸張セミナー 統計セミナー2018 [series1] アンケート調査結果報告書

- 1)調査目的 本調査は、統計セミナー2018 [series1] において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2)調査対象 統計セミナー2018 [series1] 参加者全員
- 3)調査方法 統計セミナー2018 [series1] 終了後、アンケート調査票に記入
- 4)実施日 平成30年9月6日(木)

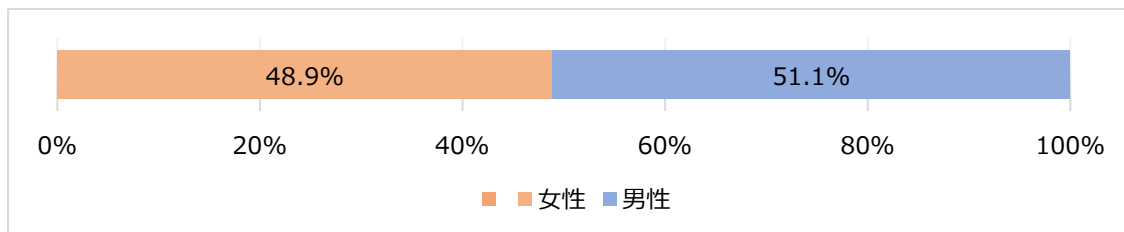
■アンケート集計結果

回答数 対象者 91名、回答者 90名
回答率 98.9%

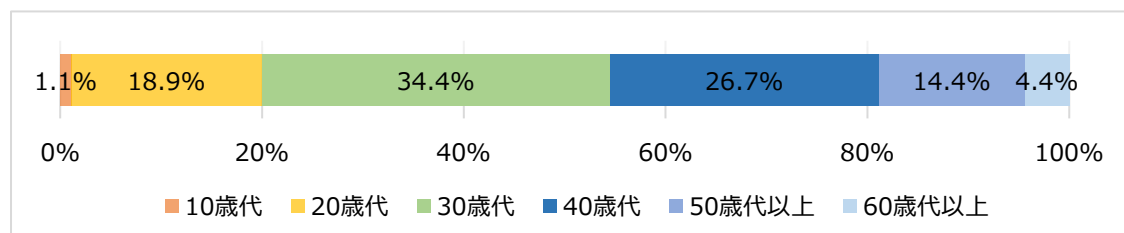
■アンケート調査結果

○回答者の属性

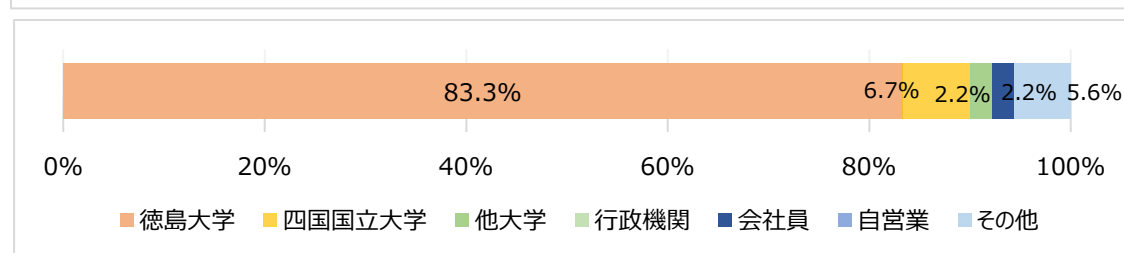
◆性別



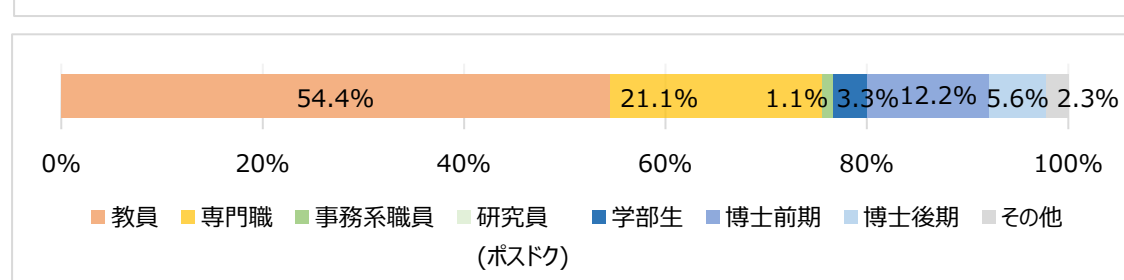
◆年齢



◆所属

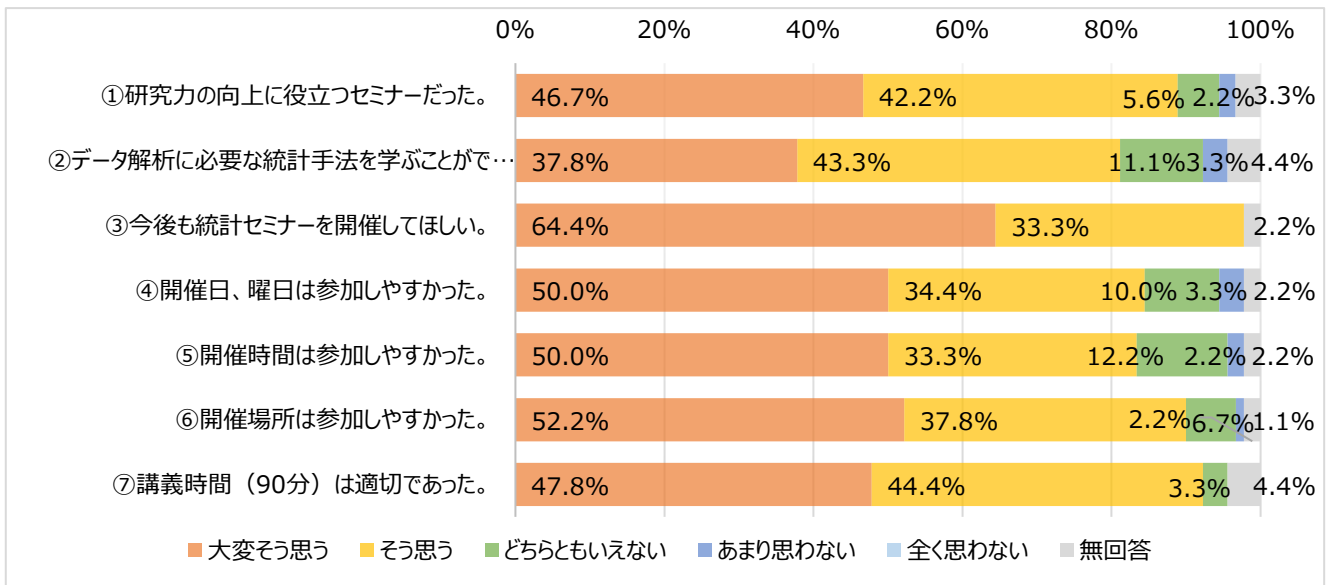


◆職種



回答者の性別では、女性が48.9%で男性が51.1%とほぼ同じ割合であった。
 年齢は30代が最も多く、34.4%で、20代から50代まで幅広い年代層の参加があった。
 所属は、徳島大学が83.3%で、他機関から16.7%の参加があった。
 職種は、教員が54.4%と最も多く、次いで専門職が21.1%、学生・大学院生の参加が21.1%であった。

問 以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。

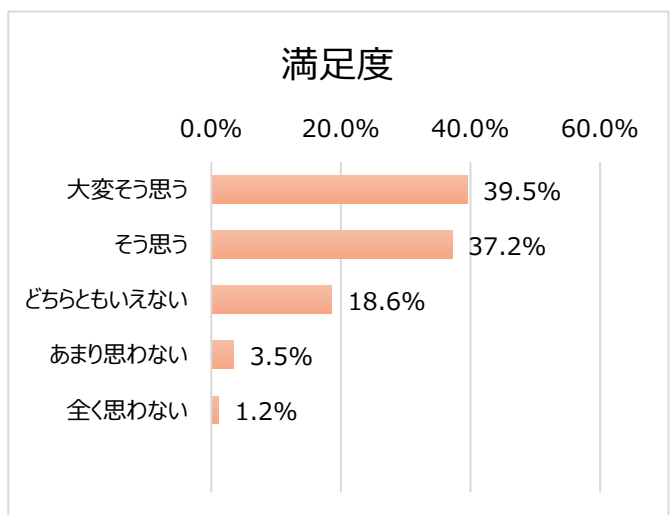
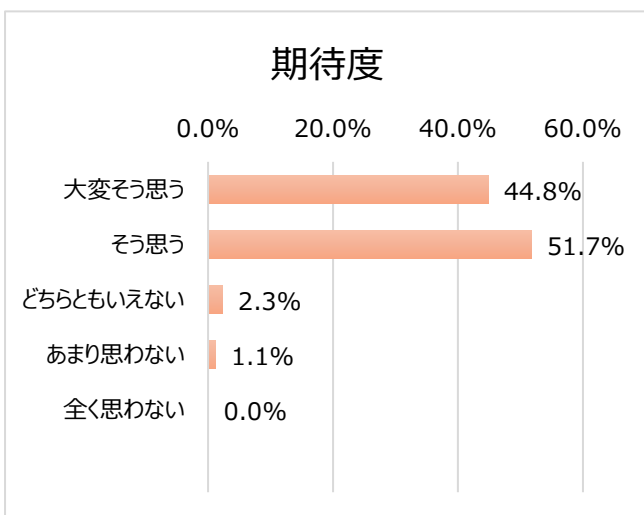


『研究力の向上に役立つセミナーだった』に対して、88.9%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、『データ解析に必要な統計手法を学ぶことができた』に対して、81.1%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、セミナーへの評価は高かった。また、『今後も統計セミナーを開催してほしい』に対して、97.7%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、ニーズの高いことがわかった。

開催形式については、各項目の『参加しやすかった』に対して、『開催日、曜日』84.4%、『開催時間』88.3%、『開催場所』90.0%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、『講義時間(90分)は適切であった』に対しても、92.2%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、参加しやすい開催形式と適切な講義時間であったと考えられる。

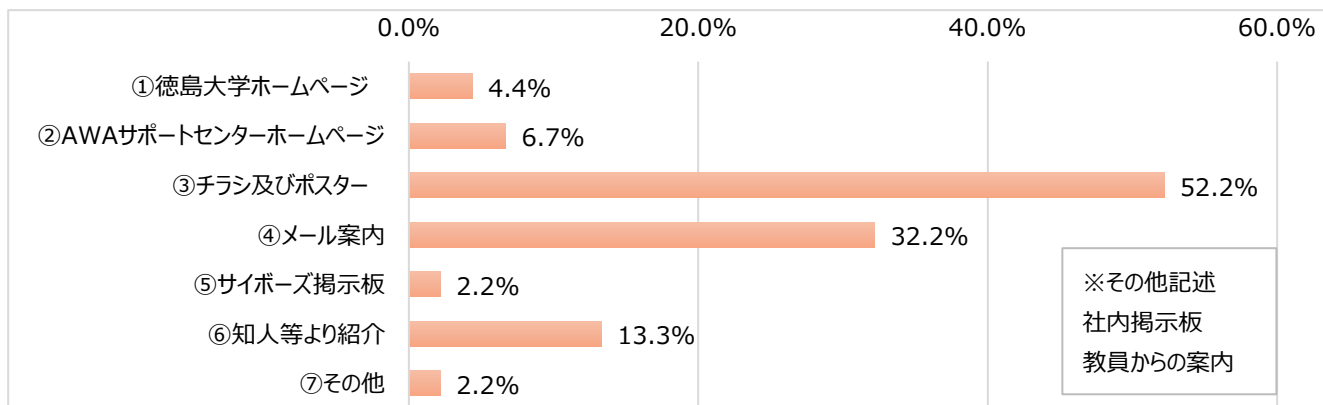
⑧本セミナーに期待していた。

⑨本セミナーは期待どおりだった。



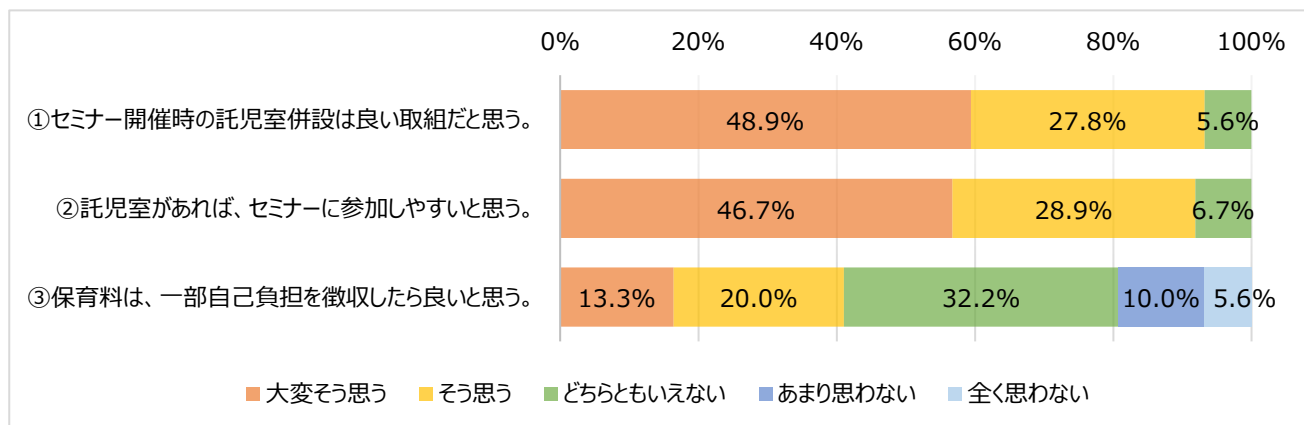
期待度は、『本セミナーに期待していた』に対して、96.5%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、満足度は、『本セミナーは期待どおりだった』に対して、76.7%が『大変そう思う』『そう思う』と回答している。また、期待度の平均値は 4.4 点、満足度は 4.1 点であり、期待度、満足度ともに高かったが、満足度が期待度を超えていなかった。

問 統計セミナー2018の開催はどのように知りましたか。該当する箇所すべてにチェックをいれてください。'



開催の広報効果については、『チラシ及びポスター』が 52.2%と最も高く、次いで『メール案内』が 32.2%、『知人等より紹介』が 13.3%と高かった。最も効果の低かった周知方法は、『サイボーズ掲示板』で 2.2%であった。

問 託児室（夕方または土日祝祭日開催時）を併設したセミナーの開催についてお伺いします。



『セミナー開催時の託児室併設は良い取組だと思う』に対して、76.7%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、『託児室があれば、セミナーに参加しやすいと思う』に対して、75.6%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、概ね、セミナーに参加するための有用な取組との見解が高いことがわかった。

一方、『保育料は、一部自己負担を徴収したら良いと思う』に対して、33.3%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、32.2%が『どちらともいえない』、15.6%が『あまり思わない』『全く思わない』と回答しており、保育料の一部自己負担については見解に相違が見られる。